

世界に誇る !! 人にもまちにもレジリエンスな 「スマートシティSANGO」の実現

SDGs未来都市さんごう



令和2年12月22日
奈良県 三郷町

SDGs環境未来都市宣言



SDGs環境未来都市宣言

私たちのまち三郷は、大和川と信貴の山々に囲まれ、豊かで美しい自然に囲まれたすばらしい所です。

でも、昨年大雨で多くの家が浸水しました。また、先月の大雨で中国・四国地方に大きな被害が出て、多くの方が亡くなりましたが、地球温暖化が原因だと言われています。

地球全体での温暖化が、これ以上進まないようにするには、

○エネルギーを無駄づかいしない

○自然が生み出す再生エネルギーを利用するなどの取り組みが必要です。

でも、これらの取り組みを私たちだけが行っても、大きな効果はありません。地球全体のことは、地球に住むすべての人が、いっしょに取り組むことで地球を守ることができます。

地球温暖化だけでなく、さまざまな問題を解決することを目標とした「SDGs（エス・ディー・ジーズ）」。

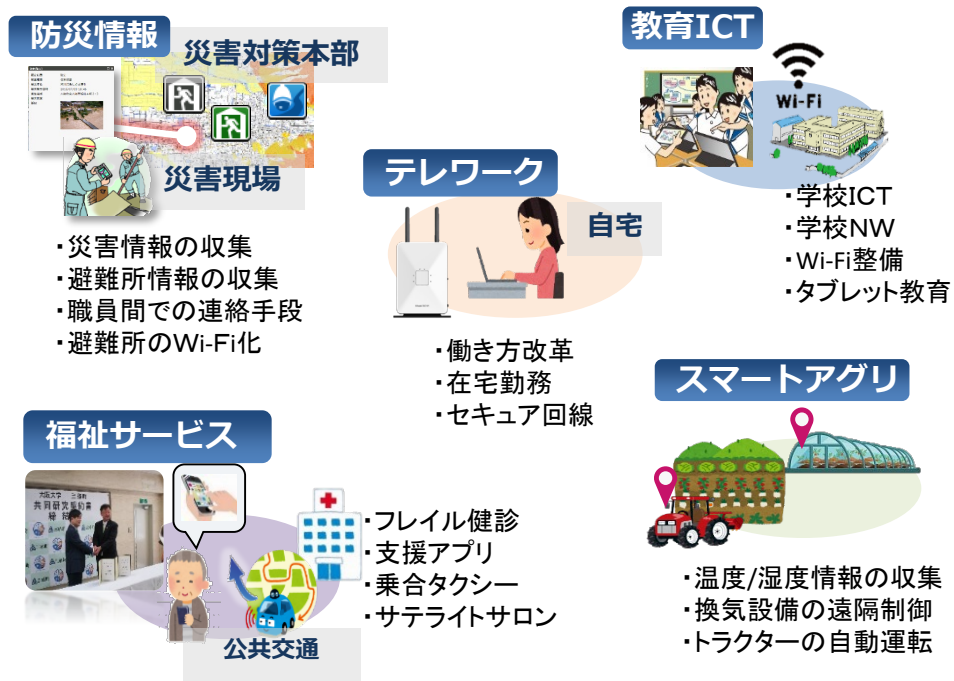
私たちは、みんなで住む地球全体のことを考え、そして30年・50年後のことを考えて、今より環境を良くするために、一人ひとりができることから始め、広く全国へ、そして世界に広めていくことを、ここに宣言します。

平成30年8月6日

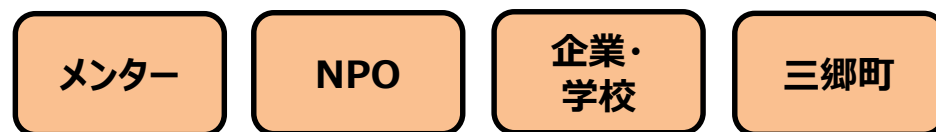
SDGs推進に向けた取り組み

ICTとメンターの力で課題を乗り越える「スマートシティSANGO」の構築

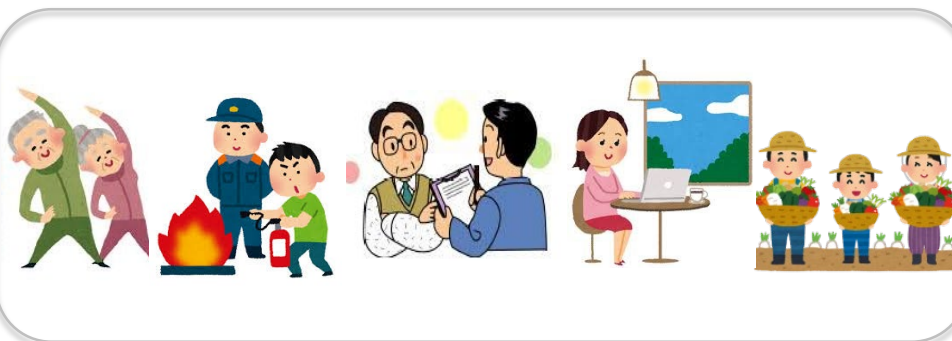
地域BWA制度を活用した ネットワークの構築・活用



メンターの発掘・育成 (三郷ひまわりパートナーズ)



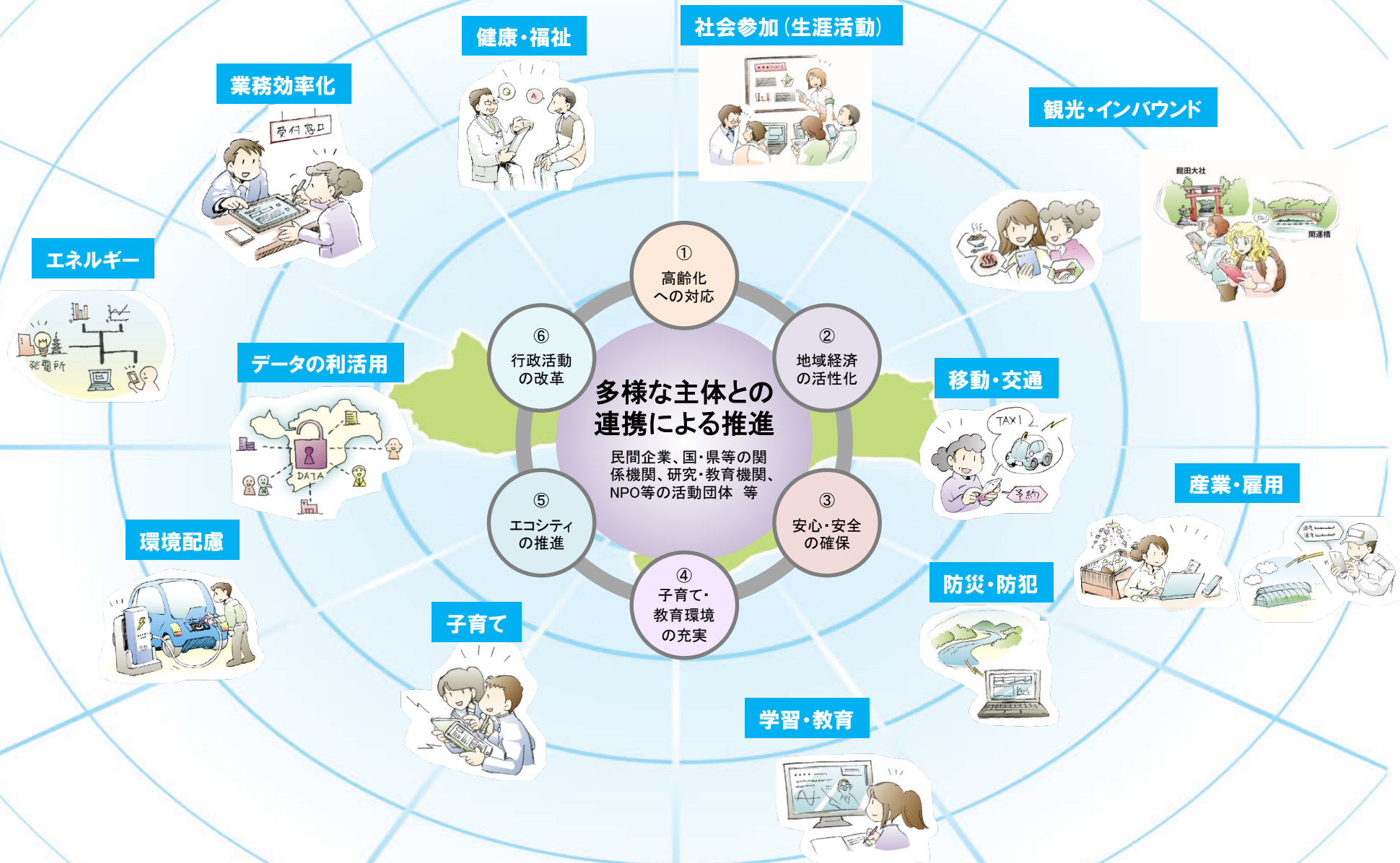
連携・協力 (Cooperation)



「スマートシティSANGO」の実現

誰一人取り残さない！

三郷町スマートシティ構想



テレワークの推進

8

働きがいも
経済成長も



9

産業と技術革新の
基盤をつくろう



BEFORE



遊休地活用

AFTER



奈良サテライトオフィス 35

8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



オフィススペース	3 室
コワーキングスペース	最大定員 34名
1人用ブーススペース	4 室
2人用ブーススペース	2 室

オフィススペース



コワーキングスペース



ブーススペース



1人用



2人用



奈良サテライトオフィス35

ICT教育の推進

4 質の高い教育を
みんなに



ICTを活用した小中一貫教育

中一ギャップの解消

町内には1中2小があり、義務教育学校の整備は困難であるが、学校の統廃合なく、小中一貫教育が可能

他校との交流

町内にある小学校同士、また小学校と中学校で生徒同士だけでなく、教師間での交流も図られる

ICT遠隔授業

野迫川村立 **野迫川中学校** (2人)



三郷町立 **三郷中学校** (32人)

教育格差の解消

教科担任制による学校運営ができない過疎地の中学校でも都市部と変わらない教育活動が可能

生徒同士の交流

小規模校でも多様な意見に触れたり、コミュニケーション不足が解消



【ICT遠隔授業《三郷中学校⇄野迫川中学校》】

10月27日(火)三郷中学校と野迫川村の野迫川中学校がICTを活用して一緒に今年度4回目のオンライン授業を行いました♪

野迫川中学校の生徒は3年生がふたり。1年生も2年生もいません。そして、3年生が来年3月に卒業すると、2年間は生徒がいなくなります。そこで、中学生最後の年に、三郷中学校の3年1組のみんなとオンラインで一緒に勉強することになりました😊

遠隔授業は画面を通してお互いの顔を見ながらの授業・・・今回はパワーポイントを使用して「私の紹介」「私の夢」をお互いに発表しました。ICTの活用で、遠くにいても時間を共有できるスゴイ時代です!!三郷中学校にも野迫川中学校にもとても良い交流になりました!!😊



未来技術社会実装事業

5Gを軸とした全世代全員活躍のまち「スマートシティSANGO」

3 すべての人に
健康と福祉を



11 住み続けられる
まちづくりを



目指す 将来像

ICT・IoT技術を活用した誰もが生涯現役で活躍できる「全世代・全員活躍のまち」を目指し、町内全域の地域BWAネットワークと主要拠点のローカル5Gネットワークを軸に地域公共交通の充実と安心・安全なまちづくりを進め、住民の外出機会・高齢者や障がい者等の雇用機会の創出、企業等の誘致・移住者の増加による地域活性化を図る。

○路線バスの自動運転化社会実装

活用技術

事業概要

- ・ JR三郷駅～奈良学園大学間の既存路線バスルート（非専用空間）を対象に、自動運転車両の実証実験（公道上は運転者が同乗しての自動運転、大学跡地内での遠隔制御の検証）を行う。
※公道上のレベル4自動運転やローカル5G整備が難しい場合は運転者同乗による運行を想定
- ・ 運転手不足に悩む交通事業者が5Gを活用した自動運転車両の遠隔監視の実証実験を行う。
（高齢者や障がい者の雇用機会創出の可能性に期待）

自動運転
5G



※写真は車両のイメージ※

図 自動運転車両の事業イメージ

○AI・ローカル5Gを活用した顔認証・画像認識による 見守り・防犯システムの社会実装

活用技術

事業概要

- ・ 固定防犯カメラ、また自動運転車両に搭載した移動防犯カメラを活用した顔認証による子ども、高齢者等の見守りシステムの実証実験を行う。
- ・ AI画像認識による不審者、不法侵入等や、車いすの利用者等が困っている場面を自動で検知可能な防犯システムの実証実験を行う。

AI・5G

監視カメラモニター



図 顔認証・画像認識による見守り・防犯システムイメージ



ご清聴ありがとうございました